

山口県労協機関紙 連合山口・労働金庫・全労済山口・県生協連・13地区労福協

# やまぐち労福協

vol. 133  
2011.7月号

社団法人 山口県労働者福祉協議会

〒753-0078 山口市緑町3番29号 TEL (083) 925-7332 FAX (083) 921-1650  
Eメール roufuku@orange.ocn.ne.jp 発行人:大塚健二・編集人:廣瀬哲夫

## 山口県労福協「第35回通常総会」開催

### ～ 一般社団法人への移行を承認 ～

5月27日(金)10時より県労福協会館大会議室において「第35回通常総会」が開催されました。長嶺副会長の開会挨拶で始まり、議長に周南地区労福協副会長の久保啓二氏を選出しました。続いて理事会を代表し中野会長は「今回の大震災を契機に“人と人の絆”が広がりを見せている。このことがまさに労福協活動の原点と考えている。生活していく上での環境が一段と厳しさを増す中で、セーフティネットにかからない人が増加している。こうした人に寄り添い型で支援していくPS事業をこの4月に立ち上げた。これまでの活動の経験を活かし、県民の期待に応える活動を展開してまいりたい」と挨拶しました。

続いて来賓の森敏明県商工労働部長、重見武男山口市参与、こころの会木原秀夫事務局長から祝辞をいただきました。議案審議に先立ち、杉本副会長より5月10日開催の理事会報告が行われました。続いて議案審議に入り、第1号議案2010年度事業報告、第2号議案2010年度会計決算報告並びに監査報告が行われ、質疑の後満場一致で承認されました。



第3号議案2011年度事業計画(案)、第4号議案一般社団法人への移行承認、第5号議案定款変更(案)については、満場一致承認されました。第6議案2011年度予算(案)については、質疑の後満場一致承認されました。第7号議案の役員補欠選任について、杉本役員選考委員長より提案され承認されました。第8号議案の総会スローガン、第9号議案の総会宣言がそれぞれ読み上げられ採択されました。最後に有吉副会長の閉会挨拶で12時15分に終了しました。

(5月10日の理事会報告、第7号議案および質疑については裏面に記載しています。)

## 《5月10日第6回理事会報告》

氏名	新役職名	旧役職名
加藤 栄	副会長	専務理事
大塚 健二	専務理事	事務局長
広瀬 哲夫	事務局長	事務局次長

## 《第7号議案 役員補欠選任》

役職名	新	旧	選出会員名
理事	有吉 政博	田村 茂照	生協連
理事	曾根 辰実	五十嵐 誠	地区労福協
監事	中元 直樹	古都 昇	連合山口



※有吉理事は副会長理事。

### 《総会での質疑》

#### 【第1号議案関連】

Q. 住宅困窮離職者自立支援事業が2011年3月末で廃止されたが、この理由は何か。  
(岩国地区労福協)

A. この事業は県の委託事業で、事業期間としては2年間である。  
2011年3月末で期間満了により廃止になった。

#### 【第2号議案関連】

Q. 一般会計の事業費「文化体育事業費」と会議費「三役会」の予算が未執行になっているがこの理由と必要性について（下関地区労福協）

A. 文化体育事業に係る予算は、一般会計および1号基金の双方から事業費支出がされている。2010年度はこの事業に係る支出が1号基金の予算範囲内に留まったため、一般会計からの支出は未執行になった。今後は、1号基金の事業費は廃止し、一般会計から全て支出していく。なお三役会については、会議の目的である緊急を要するものがなかったことから未執行になっている。会議体としては存続させ今後は会議費の中で支出する。

#### 【第4号議案関連】

Q. 会館の維持に係る外注について、請負業者の選定はどのようにしているのか。  
(下関地区労福協)

A. 特に清掃に係る業者は長年同一業者に任せていた。  
今後は仕様書の見直しも含め、必要に応じ相見積りを行っていくこととする。

## 2011年度 地区労福協事務局長会議開催

6月7日(火)県労福協会館で2011年度地区労福協事務局長会議を開催し、12地区(萩・阿武地区欠席)の事務局長・次長並びに連合山口・中国労金山口県本部・全労済山口県本部の担当者が出席しました。



冒頭中野会長は「先日中央労福協の笹森会長が逝去された。笹森氏は、働く者や生活者の先頭に立って《ライフサポートセンター》設立やサラ金被害者の救済に向けた貸金業法の改正の取り組みをされるなど、目に見える活動を通じて労福協をメジャー化された方である。私たちはこうした遺志を引き継ぐ運動を今後も展開していきたい。県労福協の体制も変わった。あんしんネット事業を中心として、新たなPS事業も含め自主福祉活動の推進を図りたい」と挨拶しました。次に県商工労働部の宮村調整監から「若者の就職支援について」というテーマで、やまぐち県政出前トークを受けました。次に事務局より経過報告や課題別報告を、加藤副会長よりパーソナル・サポートセンターやまぐちの取り組み報告を行いました。

続いて12地区労福協から、2010年度の①事業団体合同推進会議の開催②会員間の交流親睦を図るための活動③社会貢献・ボランティア推進活動④労働セミナー・市民労働福祉講座等の活動報告がされました。そのうち社会貢献活動については全地区で実施されており、宇部地区労福協からは「地域の清掃活動を昨

年初めて実施し、地域の方から大変喜ばれた。今年も是非行っていただきたいと要請された」、また周南地区労福協からは、「福祉ホットラインの活動により、特養の福寿荘から感謝状が授与された」など、地域に根差した目に見える活動として市民に共感が得られています。各地区の活動報告の後、お互いの取り組みについて意見交換がされ、周南地区から、「現在福祉ホットラインクラブからボランティア活動日の3ヶ月前に参加要請がされているが、要請時期を再検討してほしい」と要望があり、「そのことも含め、福祉ホットラインクラブのあり方検討委員会の答申について、再度検証していきたい」と答弁しました。



—宇部地区労福協の清掃活動の様子—

引き続き大塚専務より、2011年度活動の具体化について、組織財政検討委員会の設置について、出張なんでも相談会の実施について提案されました。なお具体的には7月14日の理事会に提案する旨併せて報告しました。次に広瀬事務局長より、第13回会長杯ボウリング大会について参加要請を行いました。

労働・事業団体報告では、連合山口の中元副事務局長より「第2回地協再編PT」について、中国労金山口県営業本部の山根上席調査役より「2011年度決算とお金の問題！気づきキャンペーンの継続」について、全労済山口県本部の瀬川事業推進部長より「東日本大震災への総力を挙げた取り組みを柱とした2011年度～12年度活動計画(案)」が報告され、最後に加藤副会長の閉会挨拶で終了しました。

## 周南地区労福協『第9回通常総会』

周南地区労福協第9回通常総会を5月31日(火)に来賓および会員代表者42名の参加で開催しました。はじめに周南地区労福協を代表して築山会長より、1年間の活動に対する支援のお礼と、これまで取り組んできた福祉ホットラインクラブのボランティア活動に対し、特別養護老人ホーム福寿荘より感謝状と記念品をいただいたことが報告されました。また、2011年度の活動については、生活あんしんネット周南センターとパーソナル・サポート周南センターを通して、勤労者と幅広く連帯して勤労者の暮らしをサポートできる体制の充実・強化に向けて取り組みを進めていくことや、今年度は未婚率の上昇や少子化対策として、こころの会ブライダルセンター「ピュアハーツ」と共に企画して若者の出会いの場

を提供する「DEAIサポート行事」に新たに取り組むことの報告がありました。引き続き議事に入り、2010年度事業報告、2010年度決算報告ならびに監査報告、2011年度事業計画、2011年度予算、役員選出、その他の順に審議され、満場一致ですべて承認されました。



### 【周南地区労福協役員】

会 長	築山 博
副 会 長	天満浩章、久保啓二、荒岡陽仁、廣谷浩明、江藤 伸
事務局長	池亀勇治

## 宇部地区労福協『2011年度通常総会』

6月14日(火)、宇部地区労福協は2011年度通常総会を開催しました。来賓には、宇部市から久保田市長、連合山口宇部地協から畑山議長、県労福協から中野会長を招き、祝辞をいただきました。議題では、2010年度活動報告、決算報告ならびに2011年度活動方針、予算が満場一致で承認され、新たな年度をスタート

させることが出来ました。

今年度は、今までの活動を継続させながら、昨年度より活動内容を海岸清掃に変更したボランティアについては、更に参加者が増えるよう地域の方々と共同で取り組んでいきたいと考えています。

### 【宇部地区労福協役員】

会 長	中村裕之
副 会 長	富田一志、氏原秀城
事務局長	吉村昇司

## 山口地区労福協『2011年度通常総会』

6月10日(金)、山口地区労福協は2011年度通常総会を開催しました。

来賓には、渡辺山口市長、中野県労福協会長、田中山口地協議長、渡壁防府地区労福協会長をお招きました。開会にあたり、3月11日の「東日本大震災」により被災された皆さまに対し、全員で黙とうを行った後、永富会長より挨拶、岡本事務局長より2011年度活動方針として、県労福協が掲げた2020年ビジョン「連帯・共同で創る安心・安全・共生の福祉社会」の実現を目指し、竹林ボランティア・市民労働福祉セミナーの継続実施の他、福祉ホットラインクラブの会員拡大に向けて検討すること等を提起し、満場一致で承認されました。

今後も山口地区労福協の活動にご理解とご

協力をお願いします。



### 【山口地区労福協役員】

会 長	永富一彦
副 会 長	桑田義昭
事務局長	河本 巧

## 山陽小野田地区労福協『第7回通常総会』

山陽小野田地区労福協は6月17日(金)に来賓及び会員の代表者40名の参加で通常総会を開催しました。

はじめに野村会長より、東北地方の震災被害についてお見舞いの言葉と、一刻も早い復興を願うことや、非正規労働者を含む全ての労働者の幸せを願うと共に、これに向けた活動に対する意気込みの他、地協再編に伴う諸課題について地協と連携して解決していきたいと挨拶がありました。続いて中野県労福協会長より、しゅうなん若者サポートステーションやパーソナルサポートセンターやまぐ

ち等の活動の現況と祝辞がありました。活動報告、活動方等の議案は全て承認され今年度の活動がスタートしました。

### 『山陽小野田地区労福協』



### 【山陽小野田地区労福協役員】

会 長	野村博文
副 会 長	松本好行、中野暁一郎、金子信幸、西山昌範、壹岐雅紀
事務局長	半田勝男

## 第64回政策研究委員会報告

### 【2011年度調査研究テーマ】

### 山口県における労働者の働き方とワーク・ライフ・バランスの現状

2011年6月21日、山口県労福協「第64回政策研究委員会」を開催し、2011年度の事業（調査・研究）として「山口県における労働者の働き方とワーク・ライフ・バランスの現状について」および「県労福協政策研究委員会によるカナダスタディーツアー」の実施につ

いて確認しました。なお「ワーク・ライフ・バランスの現状について」のアンケートの内容や対象者等については、今後、連合山口・県労福協と調整していくことになりました。



山口県労福協政策研究委員会は、

1992年11月から県内4年制大学の先生方に参画いただき、地方のシンクタンクとして勤労者の生活向上・福祉向上に関する調査・研究をしています。

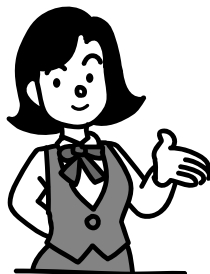
### 生活あんしんネットより

## 福祉相談事例



#### 【相談概要】

現在精神科病院に通院中の68歳男性。突然イライラしたり、気持ちが高ぶったり、孤独感に襲われる等の症状で自分がコントロールできずパニックになることがあり、生活あんしんネットには週3～4回電話がある。数年前に離婚しているが、妻には未練がある。孫には会っており、ゲーム等を買ってやったりしているが、お礼の電話等が無く、不満を募らせている。



#### 【回答・対応】

生活あんしんネットの相談員に不満や愚痴を話すことで心が癒されている様子。相談員の傾聴とアドバイスにより、本人がホッとしているのが感じられる。何かあればいつでも電話をするように伝えている。